

令和5年度 家庭科 第6学年 評価規準

	9. 見つめてみよう 生活時間			教科書の ページ	p.74～77
配当時数	2 時間	活動時期	4 月	学習指導要 領の内容	A(2)アイ

大題材の目標		生活時間について、家族との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	生活時間の有効な使い方について理解している。
	思考・判断・表現	家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)生活時間を見つめてみよう ★他教科との関連: 体育, 道徳			
・1日の生活の仕方を調べ、生活の課題を見つけよう。 p.74～75	0.5	①時間軸で自分の生活を書き出して、協力の視点で見直し、工夫できることを見つける。	[思判表]発言・記録
(2)生活時間を工夫しよう			
・生活時間の有効な使い方を工夫しよう。 p.75～76	1	①「わが家のすてき時間作戦」を考え、生活時間の有効な使い方を工夫する。 ②発表交流会をして、実践について評価・改善をする。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)生活時間を有効に使おう			
・生活時間の有効な使い方を工夫して豊かな家庭生活をつくっていきこう。 p.77	0.5	①友達の工夫やアドバイスを参考にさらに豊かな家庭生活を作るため、生活時間の有効な使い方を工夫する。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	10. 朝食から健康な1日の生活を			教科書のページ	p.78～85
配当時数	10 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	B(1)ア, (2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ, (3)ア(ア)(イ)

大題材の目標		朝食の役割と栄養, いためる調理について, 「健康・快適・安全」などの視点から, 課題をもって, 基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ, 調理計画を考え, いためる調理の仕方を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに, いためる調理について理解し, 適切にできる。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養を考えた食事, いためる調理について問題を見いだして課題を設定し, さまざまな解決方法を考え, 実践を評価・改善し, 考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として, 生活をよりよくしようと, 食事の役割と栄養を考えた食事, 調理の基礎について, 課題の解決に向けて主体的に取り組んだり, ふり返って改善したりして, 生活を工夫し, 実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)朝食の役割を考えよう			
・毎日の生活をふり返り, 朝食の役割を考えよう。 p.78～79	1	①教 p. 78 の写真 A さんの 3 日間の朝食から, よい点や課題点を話し合い, 朝食の役割について考える。 ②自分の朝食のとり方のとり方をふり返り, 課題を見つけ, これからめざす朝食のとり方を考える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録
(2)いためる調理で朝食のおかずを作ろう			
・いろいろな食品のいため方が分かり, 栄養のバランスを考えた朝食のおかずを作れるようになる。 p.80～84	7	①2 つの朝食を比べて, どちらの食事がよいか話し合い, 主にどのような働きをする食品がふくまれているか調べる。 ②栄養のバランスがよい食事について考える。 ③材料に応じた切り方, いためる順序, 火加減を調べ, 調理計画カードに記入し, いためる調理の計画を立てる。 ④切り方, いためる順序, 火加減に注目していためる調理をする。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)朝食から健康な生活を始めよう			★他教科との関連: 体育
・朝食の学習を生かし, 健康な生活を送るために家庭で朝食の計画を立てよう。 p.85	2	①調理実習をふり返り, 計画通りに進められたか, 切り方やいためる順序, 火加減や味など, うまくいった点や課題点について話し合う。 ②学習したことを生かして, ご飯とみそ汁に付けた足す朝食のおかずの計画を考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	11. 夏をすずしくさわやかに			教科書のページ	p.86～94
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(ア)(イ)イ, (6)ア(ア)イ

大題材の目標		夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、夏をすずしく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)夏の生活を見つめよう		★他教科との関連: 社会	
・夏の生活の特徴から、工夫していることを見つけよう。 p.86～87	1	①イラストや生活経験をもちに、夏の生活の特徴や工夫点を出し合い、自分の生活の問題点に気づく。 ②問題点をもとに、解決すべき課題を設定し、学習の見通しをもつ。 ③夏を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録
(2)すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう		★他教科との関連: 理科, 体育	
・夏を快適に過ごすための住まい方や衣服の着方, 手入れができるようになろう。 p.88～93	6	①調べた夏の生活の工夫を発表する。 ②気温, 湿度, 風通し, 騒音について調べ, 健康・快適の視点で, 生活の問題を解決するための最適な方法を考える。 ③快適で安全な着方を考える。 ④家庭で調べた衣服の手入れの工夫を発表する。 ⑤衣服を気持ちよく, 長く利用するための方法を考える。 ⑥洗濯の仕方を調べ, 手順に従って手洗いをする。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察
(3)夏の生活を工夫しよう		★他教科との関連: 理科	
・これまで学習したことを生かして, 自分の生活を見直し, 夏の住まい方や着方の工夫を計画しよう。 p.94	1	①夏休みの暑い 1 日を自宅で快適に過ごすための工夫について話し合う。 ②工夫点をふまえ, 相手や場所を設定し, 夏を快適に過ごしてもらうための「夏のおもてなし計画」を考える。	[思判表] 発言・記録 [態度] 発言・行動観察

大題材名	12. 思いを形にして 生活を豊かに			教科書の ページ	p.96～105
配当時数	14 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要 領の内容	B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう			
・ 目的に合ったふくろなどを製作するために必要なポイントを考えよう。 p.96～97	1	①身の回りにある布製品を観察し、便利で長く使うための工夫について考える。 ②作りたいふくろやカバーをイメージして図に表す。	[思判表]発言・記録
(2)計画を立てて、工夫して作ろう			
・ 目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。 p.98～103	12	①身近にあるふくろなどを観察して、出し入れしやすくするためのゆとりについて話し合い、目的に合った形や大きさを考える。 ②製作計画を立てる。 ③製作の途中で、製作計画や作品を友達と見せ合い、工夫できることについて話し合う。 ④製作計画に沿って、安全に注意し、工夫しながら布作品を製作する。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)衣生活を楽しく豊かにしよう			
・ 製作を通して学んだことを生かして、生活を豊かにする計画を立てよう。 p.104～105	1	①使い心地やおくった相手に聞いた感想を報告し合い、工夫することのよさに気づく。 ②生活を豊かにする布作品の提案について意見交換し、製作計画を立てる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	13. まかせてね 今日の食事			教科書のページ	p.106～114
配当時数	10 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(1)イ, (3)ア(ア)(イ)(ウ)イ, C(1)ア(ア)(イ)イ, (2)アイ

大題材の目標		栄養を考えた食事について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、1 食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、栄養のバランスを考えた 1 食分の献立を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	1 食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	1 食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)献立の立て方を考えよう		★他教科との関連: 体育	
・1 食分の献立を立てるときに必要なことを考えよう。 p.106～107	1	①献立を立てるときには、栄養のバランスを整えて、主食・主菜・副菜に汁物を加えて食品を組み合わせてつくことを知る。	[思判表]発言・記録
(2)1 食分の献立を立てて、調理しよう		★他教科との関連: 社会	
・1 食分の献立を立てて、環境に配慮し調理しよう。 p.108～113	8	①いろいろな食品を使ってご飯とみそ汁を中心とした 1 食分の献立を考える。 ②必要な材料・分量、用具、手順を調べて調理計画を立てる。 ③買い物の仕方について考え、材料の準備をする。 ④家族が喜ぶおかず作りの調理実習を行う。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)楽しく食事をするために計画を立てよう			
・楽しく食事をするための工夫について考えよう。 p.114	1	①みんなで楽しく食事をするために工夫できることについて考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	14. 冬を明るく暖かく			教科書のページ	p.116～121
配当時数	5 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(ア)イ(6)ア(ア)イ

大題材の目標		冬の快適な住まい方や衣服の着方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)冬の生活を見つめよう		★他教科との関連: 社会	
・冬の生活の特徴から、工夫していることを見つけよう。 p.116～117	1	①イラストや生活経験をもとに、冬の生活の特徴や工夫を出し合い、自分の生活の問題点に気づく。 ②問題点をもとに、解決すべき課題を設定し、学習計画を立てる。 ③冬を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。	[思判表]発言・記録
(2)暖かい着方や住まい方をしよう		★他教科との関連: 体育, 理科	
・寒い季節に快適に過ごすための衣服の着方や住まい方ができるようになろう。 p.118～120	3	①イラストの衣服の着方を考える。 ②暖かさの実験を行い、衣服の暖かい着方の仕組みを理解する。 ③暖房器具の特徴や安全に使うための注意点を調べる。 ④暖房器具の効果的な利用の仕方について話し合う。 ⑤教室やろうかの暖かさと明るさを調べる。 ⑥測定結果をもとに、日光の利用の仕方を考える。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)冬の生活を工夫しよう			
・これまで学習したことを生かして、自分の生活を見直し、冬の着方や住まい方の工夫を計画しよう。 p.121	1	①学習したことを生かして学校でどのようなことができるのか話し合う。 ②イラストの男の子の課題を見つけ、どんなアドバイスをするのかを考える。 ③1年生へ提案する冬の健康で快適な生活の計画を立てる。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	15. あなたは家庭や地域の宝物			教科書のページ	p.122～127
配当時数	2 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容	A(3)ア(イ)イ

大題材の目標		家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)家族や地域の一員として		★他教科との関連:道徳	
・自分や家族が、地域の人々とどのように関わっているか考えよう。 p.122～123	0.5	①イラストを見て、自分の生活と地域の人々との関わりについて考える。 ②チェックポイントを参考に、協力の視点から、家族や地域の一員としての自分の生活を見直し、地域の人々とどのように関わっているかを考える。	[思判表]発言・記録
(2)私から地域につなげよう！ 広げよう！			
・2年間の学習を生かして、地域や家庭をよりよくする工夫を考えよう。 p.124～125	1	①地域や家庭をよりよくする工夫を考え、2年間の学習を生かして、実践計画を立てる。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)もっとかがやくこれからの私たち		★他教科との関連:社会	
・家族の一員として家庭や地域でできることを考えよう。 p.126～127	0.5	①友達の工夫やアドバイスを参考に家庭や地域をよりよくしていくために、地域の一員としてできることを考える。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察

大題材名	2 年間のまとめ			教科書の ページ	p.129
配当時数	1 時間	活動時期	3 月	学習指導要 領の内容	A(1)ア

大題材の目標		2 年間の学習でできるようになったことをふり返って，家庭や地域に生かそう。			
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	-			
	思考・判断・表現	-			
	主体的に学習に 取り組む態度	これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し，家族の一員として生活を よりよくしようと工夫し，家庭や地域で実践しようとしている。			

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)2 年間の自分の記録をふり返ろう			
・2 年間の「成長の記録」をふり返 ろう。 p.3		①p. 3「成長の記録」をふり返り，気づ いたことや思ったことをとなりの 友達と話し合う。	[態度]発言・行動観察
(2)2 年間の学習についてふり返ろう			
・2 年間の学習全体についてふり返 ろう。 p.129		①p.129 の「活動」(よくできたり分か ったりした題材のチェックボッ クスにするしを付ける)を行う。 ②「これから私が工夫したいことは …」の欄に自分の考えを記入する。	[態度]発言・行動観察
(3)これからやってみたいことを考えよう			
・2 年間の学習での自分の成長の自 覚と中学校での学習への願いや 希望の発表しよう。 p.129		①2 年間の学習の中で自分なりに工夫 できたことやがんばったことを発 表する。また，これからやってみた いことや工夫したいことなどを発 表し合う。	[態度]発言・行動観察

大題材名	生活を変えるチャンス！			教科書のページ	p.31,61,95,115,128
配当時数	3 時間 (実践は家庭で行うことを前提とする。)	活動時期	長期休業前後	学習指導要領の内容	A(4)ア

大題材の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	-
	思考・判断・表現	家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)課題を設定しよう			
- 学習のふり返りから自分ができるようになったことを話し合おう。 - 課題を設定しよう。	1	①学習の足あとやふり返りカードを見て話し合う。 ②学習したことをもとに、自分の家庭でどのようなことが問題か、実践できそうかを話し合う。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(2)課題を解決するための計画を立て、実践しよう			
- 自分の家庭での実践の計画を立てよう。 - 計画を家庭と実践しよう。	1	①課題を設定し、課題解決のために実践する具体的な計画を立てる。 ②自分が見つけた課題と実践の計画について発表する。 *長期休業中に家庭で実践する。	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察
(3)実践について評価・改善しよう			
- 家庭実践についてまとめ、発表し、友達と交流しよう。 - 実践について評価・改善しよう。	1	①長期休業前の計画と実践したことをふり返る。 ②自分の課題と家庭で実践について発表する。友達の課題と家庭での実践について聞き、交流する。 ③友達の発表も参考にして、自分の実践について評価・改善をする	[思判表]発言・記録 [態度]発言・行動観察